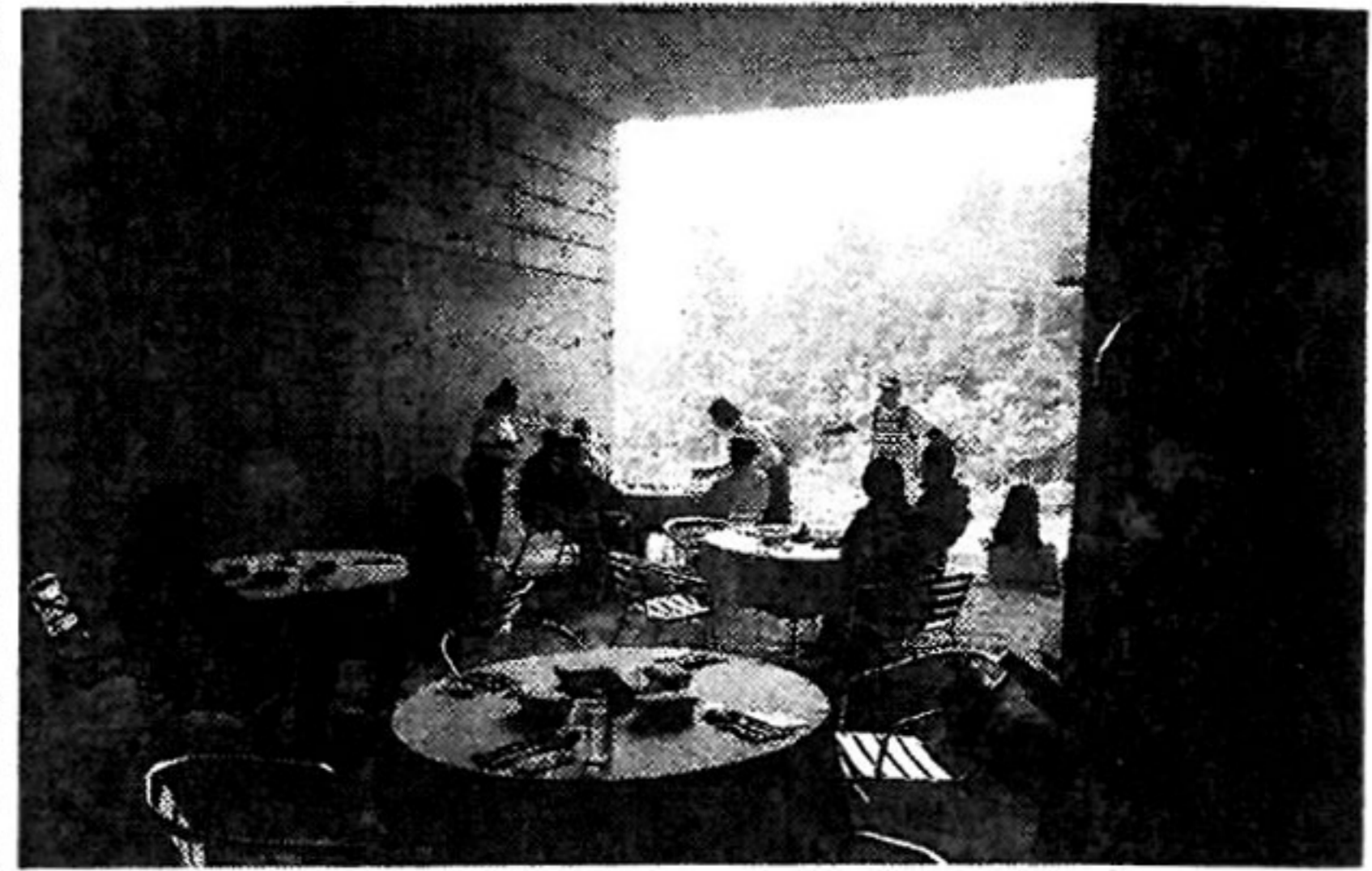


着地型旅行で活性化

宇都宮市 道の駅運営会社



大谷石採石場跡の半屋外でランチ

2012年度に道の駅として生まれ変わった宇都宮市の「ろまんちっく村」を管理運営するのが㈱ファーマーズ・フォレスト。

同社は同年度から第二種旅行業務を登録、着地型観光コーディネーターを配し企画から運営までを当地側で行う「着地型旅行」を展開している。市北西部を中心に事業を展開、地域を良く知る「ツアーナビゲ―

ター」が地域の魅力を伝え、地元の農家などが「プレーヤー」として参加者を歓迎、リピーターを増やすなど地域と一体となった取り組みが行われている。

また、市北西部以外にも地域課題解決型の観光プログラムを展開している。県内各地域の相談に乗り、栃木の魅力を発信し、参加者に好評を得ている。着地型観光コーディネ―

ターの石崎美映子さんは「大手旅行会社で得たノウハウを生かし地域の魅力を最大限に発揮させるとともに、地域の方々の参加を得ながら新たな価値を見出すなど地域活性化につなげたい」と話す。

市大谷地域で実施している採石場跡地の活用事業「大谷アンダーグラウンド」という「地底湖」を活用した着地型ツアーでは、四面大谷石の採石跡地にできた地底湖を回るクルーズ、大谷石の採石跡をテラスとみただて半屋外で地元食材を使ったランチを楽しむ演出など一般の観光では味わえない企画が満載。市北西部の魅力を感じてみてはいかがでしょう。

問い合わせは、ろまんちっく村内えにしトラベル (☎028・689・8782) へ。

(宇都宮市・佐藤勸一郎 情報員)